



## IFALPA AGE Committee in Luxembourg 出席報告

2008年6月18～20日の3日間、ベネルクス三国(Belgium/ベルギー、Netherlands/オランダ、Luxembourg/ルクセンブルク: Benelux 三国)の一国である Luxembourg にて IFALPA AGE (Aerodrome Ground Environment) Committee が行われました。ALPA Japan からは AGE 委員長が参加し、世界約 15 力国から出席した 25 名程の Pilot と活発な意見交換を行いました。欧州では小国の Luxembourg ですが、欧州組織 Euro Control の主要施設 (管制官用 Simulator など)があるなど欧州の航空産業にとって重要な地であると共に、航空貨物会社 CargoLux の基地としても有名です。

### 主な内容

- ・ 主に Runway Safety を議題とした様々な国際会議の出席報告
- ・ ICAO、Euro Control、ECA (European cockpit association) 等の Working Group 報告
- ・ ADO (Aircraft Design and Operation) 委員会との ILS Critical Area に関する議論
- ・ Boeing からのプレゼンテーション (787 や 747-8 に関して)
- ・ Runway Incursion/Excursion の防止をテーマとしたパネルディスカッション

ここ数年来、AGE 委員会における大きな議題は Runway Safety であり、なかでも昨今は日本でも話題に挙がる Runway Incursion/Excursion/Confusion について、原因究明や防止策、防止の為に新システム開発など、様々な側面から議論されています。2年後には羽田空港 D 滑走路共用、成田空港東側滑走路北伸などを控える日本国内においてもこれらの議論は決して他人事ではないものであり、引き続き積極的に関与していかなければならないと改めて痛感しました。

### \*\*\* 787 に対する Rescue & Fire Fighting \*\*\*

報告書の中で 787 に対する RFF に関しての内容がありましたので紹介します。

・・・787 に使用される合成パネルの Fire test では、材質が細かくボロボロになってしまう事もなく、有毒な物質も発生しなかった。また、合成パネルが 2000 ° F の温度下で焼けて穴が開くまで 10 分以上要した。このパネルは、ダイヤモンド又はカーバイドのチップが付いた道具では簡単に切る事ができるが、それ以外の道具では大変困難な様である。貫通したり切り裂くには、大凡 2000 ~ 3000PSI 必要である・・・

787 に使用される新しい素材は、今後の RFF に様々な影響を及ぼす事が考えられます。

\*\*\*\*\*

AGE 委員会は、今後も IFALPA 国際活動を含め様々な情報をお伝えしていきます！

